

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	音楽
科目基礎情報						
科目番号	0009		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子システム工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	・ 授業時にプリントを配布する。 ・ パソコン・筆記用具・プリント用紙を保存できるファイル等を各自で用意する					
担当教員	吉川 理香子					
到達目標						
(科目コード：00360 英語名：Music) この科目は、長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育到達目標との関連の順で次に示す。 ①音楽の本質を学び、基礎的な知識を理解する。50% (a1)②音楽を通して国際的視野を持ち、社会的倫理を理解する。25% (a2)③音楽を通して豊かな感性を身につける。25% (a3)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
音楽の本質を学び理解する。	音楽の本質を学び理解が十分にできている。	音楽の本質を学び理解ができている。	音楽の本質を学び概ね理解ができている。	左記に達していない。		
音楽を通して国際的視野を持ち、社会的倫理を理解する。	音楽を通して国際的視野を持ち、社会的倫理を十分に理解できている。	音楽を通して国際的視野を持ち、社会的倫理を理解してできている。	音楽を通して国際的視野を持ち、社会的倫理を概ね理解できている。	左記に達していない。		
音楽を通して豊かな感性を身につける。	音楽を通して豊かな感性を身につけることが十分にできている。	音楽を通して豊かな感性を身につけることができている。	音楽を通して豊かな感性を身につけることが概ねできている。	左記に達していない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	Ⅰ 音楽概論 ①楽譜作成ソフトを利用して基礎的な音楽の知識を学ぶ。 Ⅱ 音楽概論 ①音楽の歴史や形態を学び、音楽美学についての思考を深める。					
授業の進め方・方法	・ 音符を、数や面積としてとらえ、数学的思考から音楽知識を学ぶ。 ・ 各自のパソコンで音符を入力しながら音楽知識を学ぶ。 ・ パソコン操作で得た音楽知識が、音楽鑑賞を通すことにより音楽美学への理解に繋がることを体感する。					
注意点	・ パソコンは、予め充電をした上で授業に出席する。 ・ 配布したプリントは紛失しないよう各自で保存すること。 ・ 評価は、音楽経験の有無にかかわらず、主に授業の取り組み方で判断する。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション PowerPointで授業の流れを知る	オリエンテーションを行う		
		2週	楽譜の読み方基礎編（音符） 音符を書く・音符の入力	楽譜の基礎を学ぶ		
		3週	楽譜の読み方基礎編（音符・拍子） 音符を書く・音符の入力	楽譜の基礎を学ぶ		
		4週	楽譜の読み方基礎編（階名） 音符を書く	楽譜の基礎を学ぶ		
		5週	楽譜の読み方基礎編（音階） 音符を書く・音符の入力	楽譜の基礎を学ぶ		
		6週	楽譜の読み方基礎編（記号） 音符を書く・音符の入力	楽譜の基礎を学ぶ		
		7週	楽譜の読み方基礎編（記号） 4小節作曲・音符の入力	短い曲の完成		
		8週	楽典（音程） 音程の教え方	音程を数値化して考える		
	2ndQ	9週	楽典（コードネーム） 音符やコードネームを書く・音符の入力	音と数との関連を知る		
		10週	楽典（コードネーム） 音符やコードネームを書く・音符の入力	音と数との関連を知る		
		11週	楽譜の読み方応用編 + 4小節作曲	短い曲の完成		
		12週	楽譜の読み方応用編 鑑賞とレビュー	音と数との関連を知る		
		13週	楽譜の読み方応用編 鑑賞とレビュー	音と数との関連を知る		
		14週	楽譜の読み方応用編 鑑賞とレビュー	音と数との関連を知る		
		15週	1週から14週のまとめのまとめ テスト演習問題	テストを行う		

		16週	前期期末試験 基礎的な楽譜の読み方と、授業内で鑑賞した曲から出題 17週 試験解説	基礎的な力を確認する
後期	3rdQ	1週	西洋音楽史（古典～） 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		2週	西洋音楽史 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		3週	西洋音楽史 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		4週	西洋音楽史 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		5週	西洋音楽史 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		6週	西洋音楽史 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		7週	西洋音楽史 鑑賞とレビュー	音楽に親しみ、楽しく鑑賞できる
		8週	音楽美学（ロマン派から印象派） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
	4thQ	9週	音楽美学（ロマン派から印象派） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
		10週	音楽美学（ロマン派から印象派） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
		11週	音楽美学（ロマン派から印象派） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
		12週	音楽美学（ロマン派から印象派） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
		13週	音楽美学（印象派から現代） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
		14週	音楽美学（印象派から現代） 鑑賞とレビュー	音楽の美しさを理解する
		15週	1週から14週のまとめのまとめ テスト演習問題	音楽の美しさを理解する
		16週	後期期末試験 前期後期の授業内容から出題 17週 試験解説	音楽の概要を理解する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的 能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前1,前7
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前2,前7
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前2,前7
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	前3,前5,前6,後1,後7,後12,後14
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	前3,前5,前6,後1,後6,後7,後9,後10,後11,後13
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	前2,前7
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	前4,前5,前15,後15
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前4,前15,後15
				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	前15,後2,後15,後16
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前15,後15,後16

評価割合				
	試験	提出物	態度	合計
総合評価割合	50	25	25	100
基礎的能力	50	10	10	70
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	15	15	30